

官坂建設工業 搭乗率向上で社員旅行

官坂建設工業(本社・帯広)は、帯広空港と韓国仁川国際空港を結ぶ定期便の搭乗率を上げるため、グループ企業を含めた社員旅行を計画している。

帯広―韓国の定期便持続へ

2月末から3月末にかけて計319人の利用を予定。定期便の維持促進と十勝の地域活性化に寄与する考えだ。帯広空港では2025年5月から、韓国LCCのエアロ

K航空が定期就航。韓国の清洲と帯広を結ぶ、同空港初の国際線定期便が誕生した。11月からは仁川―帯広も就航。外国人観光客の玄関口となっ

るには、搭乗率向上と利用促進が不可欠だ。そこで同社は、社員旅行を計画。創立100周年がコロナ禍と重なり大々的な行事を避けたこともあり、企画を決めた。

参加者は、官坂建設工業と登寿グループ各社の役員。3泊4日の旅行を5班に分ける。2月28日出発の班を皮切りに、毎週土曜日に順次各班が仁川便を利用して旅立つ。

(帯広)